

## 山崎晴恵市長からの メッセージ



短い秋があっという間に過ぎ、寒い冬が訪れました。昼夜で寒暖差がありますので、夜は暖かい服装でお出かけくださいね。

来年で、未曾有の大震災、阪神・淡路大震災から30年を迎えます。震災当時、私は会社員として保険会社で働いていました。朝方、大きな揺れで目を覚まし、部屋の本棚から飛び出た本が宙に舞うのを、ただ恐怖の中で見つめていた記憶があります。この大震災で宝塚市は119名の尊い命を失いました。あれから30年経つ今も、今年1月には令和6年能登半島地震、それに被せるような豪雨に見舞われ、予測できない自然災害が発生しています。

阪神・淡路大震災の被害から10年経った平成17年1月に、「街と人の心の再生」を願い、市内在住の現代美術家の大野良平さんが、「生」の石積みを作成されました。皆さんも、武庫川の中州に石を積んで大きな「生」の文字を作り上げたオブジェを、ご覧になったことがあるでしょう。市長就任前、私は毎日朝晩にこのオブジェを見ながら通勤していました。最初

はくっきりきれいな「生」の文字が、降雨や川の増水、中州に草が茂るにより少しずつ崩れ、消失していきます。私が大野さんと一緒に石積みをしたとき、消失してもよい、消失した文字を皆さんと共に積み直して再生することに意味があるとおっしゃっていました。それが「街と人の心の再生」だと。私は、積んだ石に「命」という文字を書きました。今年も12月7日・8日に石積みします。そして、1.17の前夜、来年1月16日には宝塚「生」の祈り2025(震災犠牲者追悼ライトアップ)が開催されます。あの震災を知らない世代の若い方々にも、命の大切さ、生きることを考えてもらう機会になると思いますので、ご参加をお待ちしています。

さて、市長と歩こう朝活ウォーク、好評につき、12月10日と17日も、追加開催することにしました。もはや朝活トークになっている朝活ウォークです。よろしければ、私と歩きながら話してみませんか？

山崎晴恵

### 市長と歩こう朝活ウォーク

日 12月①10日・②17日(火)8時～9時 ※雨天中止

場 ①市役所前武庫川河川敷②宝塚駅付近武庫川河川敷

対 おおむね60歳以上

申 問 高齢福祉課(☎77・2068)



市長出演番組「まちづくりゆめづくり～市長と語りましょう～」

12月1日(日)8時半～9時 / (再)12月8日(日)8時半～9時

テーマ：阪神・淡路大震災から30年「生」の石積み

ゲスト：記憶の中の「生」再現プロジェクト

代表 大野 良平さん



詳細

## 市立病院を現在地で建て替えることに決定しました

市は、今後も市民の皆さんが必要とする医療を継続して提供できるよう、今年3月に経営強化プランを策定し、新しい病院を整備することを決定するとともに、建設地の検討を行ってきました。このたび複数の候補地について、概算事業費、スケジュール、災害リスク、救急搬送、アクセス・利便性などの観点から比較検討を行った結果、現在地で建て替えることに決定しました。

新病院整備にかかる現時点での事業費は約397億円で、開院時期は令和13(2031)年度頃になる見込みです。新病院の整備にあたっては、まず基本計画を策定することとしており、今後、令和7(2025)年度中にパブリック・コメントを通じて市民の皆さんからも意見をいただく予定です。

### 利用者への影響

病院が完成するまでの間は、現在の場所でこれまでどおり入院・外来を受け付ける予定です。建設工事に伴う利用者の動線・運用の変更については、工事開始を予定する令和9(2027)年度に、あらかじめ本誌や市公式LINEなどで周知するとともに、利用者の皆さんへの影響が最小限となるよう努めます。

### アクセスの問題

市立病院への交通アクセスは、駅から遠いことに加え、路線バスが減便となったことにより、その利便性が課題となっています。そのため、今年度実施した市立病院へのコミュニティバス導入の実証実験に加え、利用者の予約に応じた運行経路や運行スケジュールを決めるデマンド型交通など新たな交通の仕組みを検討し、課題解決に取り組みます。



問 市立病院経営統括部 新病院建設準備担当(☎87・1161 FAX87・5624)